



学校安全ネットワーク情報

Vol. 29

◎親子向け防犯教室～自分の身を守るために～

子どもが自分自身の身を守るための技能を身に付けるとともに、親子で防犯意識を高めることを目的に、岩槻区防犯連絡協議会では平成24年度より親子防犯教室を実施しています。今年度は、川通小学校で親子防犯教室が開催されました。

講師:NPO法人体験型安全教育支援機構



防犯教室は低学年の児童と保護者を対象に実施されました。たくさんの保護者の方に御出席いただきました。

子どもたちがロールプレイを通じて身の守り方を学習します。腕にタオルを巻き、実際に噛みつく練習や保護者が不審者役になって子どもが逃げる練習などが行われました



子どもと親が体験的に防犯を学ぶことで、日常生活における子どもへの防犯指導の機会が増え、学校・家庭・地域が連携した、防犯力の定着が期待されます。今後、防犯教室の実施の際には、機会を捉えてPTAとも連携するなど、防犯教室の効果を高めていきましょう。

区校長会で不審者情報を提供しています

教育委員会では、各学校より提供された不審者情報の状況を小学校の各区校長会へ情報提供し、見守り活動に活用していただいています。

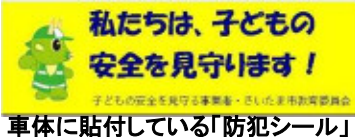


小学生については、「声かけ」とともに「触られる」「衣服をつかまれる」等の被害が報告されています。引き続き、防犯体制の強化と、子どもへの指導をお願いします。

防犯ワンポイントニュース

～「子ども安全協定」事業者拡大中～

教育委員会では、配達・運送等にかかわる事業者と、車両への防犯シールの貼付及び不審者等を目撃した時に、警察及び教育委員会に連絡をいただく「子ども安全協定」の締結を進めております。新たに3事業者(株サイサン、(株)須原屋、(株)岩鉄)と締結しました。今後も締結を進め子どもの一層の安全確保を図ってまいります。



○桜木小学校防犯ボランティア連絡協議会

～感しゃの会～

桜木小学校において、10月21日に防犯ボランティア連絡協議会と、ボランティアの方々への「感しゃの会」が開催されました。



防犯ボランティア連絡協議会に先立ち、「感しゃの会」を体育館で開催しています。児童の手作りの入場門と拍手に迎えられ、ボランティアの方々が入場します。

児童の感謝の言葉やお礼の手紙、歌のプレゼントがボランティアの方々に贈られました。ボランティアの方々は、とても喜んでいらっしゃいました。



「感しゃの会」に引き続き、防犯ボランティア連絡協議会が開催されました。日頃の活動に関する報告や所感について積極的に意見交換がされていました。

○与野西北小学校防犯ボランティア連絡協議会

10月28日に与野西北小学校防犯ボランティア連絡協議会において、校外研修が実施されました。



災害時には、防犯ボランティアの方々との連携も重要であることから、大宮区にある防災センターで研修が実施されました。

消火体験の様子→

↓地震体験の様子



防災センターでは、地震や火災を始めとした災害を体験的に学習するための設備が充実しています。災害はいつ起こるか分かりません。日頃からの備えや正確な知識を身に付けることが大切です。